森のひろば フォレスト・ニュース
NO.1126
令和元年 12 月号
近畿中国森林管理局

ニュース

大阪市北区天満橋 1-8-75　TEL 050-3160-6763
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

令和元年度

森林・林業交流研究発表会

【森林整備部 技術普及課】

11 月 12 日（火）～ 13 日（水）の両日、近畿中国森林管理局大会議室において、「令和元年度　森林・林業交流研究発表会」を開催しました。 今年の発表者は、森林管理署等の職員のほか、初参加の林業大学校や大阪産業大学をはじめとする教育機関８校、自治体、研究機関、森林組合など１９機関・団体にご参加いただきました。

発表課題については、シカの被害対策や低コスト造林の取組、早生樹造林、山地災害復旧対策など地域の課題に密着した幅広い研究・取組が全３０件（特別発表含む）発表されました。

北桑田高等学校生徒による発表

８人の審査委員による審査の結果、近畿中国森林管理局長賞には奈良森林管理事務所、大阪府森林組合と株式会社組合立森林研究所の共同研究及び奈良県の薬事研究センターほか２機関による共同研究の３件が受賞しました。その他７件が各賞を受賞しました。

今回発表いただいた内容については、森林・林業交流研究発表集録としてとりまとめ、ご活用いただけるよう、管内の行政機関、全国の森林・林業の研究機関、大学等教育機関等に広く配付していきます。

（参加いただいた各機関・団体）

・教育機関・・・京都府立北桑田高等学校、大阪府立園芸高等学校、鳥取県立智頭農林高等学校、奈良工業高等専門学校、大阪産業大学、岡山大学、広島大学、にちなん中国山地林業アカデミー
・府県（試験場、研究所含む）・・・石川県、京都府、奈良県、岡山県、広島県
・森林組合・・・大阪府森林組合
・企業・・・（株）組合立森林研究所
・公益社団法人 岐阜県森林公社
・（国研）森林研究・整備機構 森林整備センター近畿北陸整備局奈良水源林整備事務所
・（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター関西育種場
・（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所

審査委員長による質問

発表内容やプログラムは QR コードまたは下記アドレスをご覧ください。
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/gijyutukaihatu/20170324.html

【令和元年度森林・林業交流研究発表会表彰一覧】

◎近畿中国森林管理局長賞

・治山事業施工地（緑化箇所）におけるシカ被害対策について

（奈良森林管理事務所 小澤和也、小林正典）

・鉄鋼スラグを中詰め材に用いたジオセル舗装工法の検討

（大阪府森林組合 中村孝、木村元紀

（株）組合立森林研究所 西川静一）

・国産キハダの栽培推進と優良な県産製品の拡大に向けた奈良県研究分野統合本部の挑戦

（奈良県薬事研究センター 西原正和

奈良県保健研究センター 立本行江

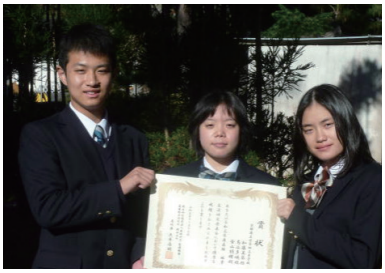
奈良県産業振興総合センター 平田平馬）

◎（国研）森林研究・整備機構　森林総合研究所関西支所長賞

・新素材ＣＬＴ端材を使用した木製品作りへの挑戦

（京都府立北桑田高等学校

加藤美葵、菊谷多映、金山朋暉）



◎（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場長賞

・岡山甘栗の栽培化とその普及～栽培マニュアルの作成～

（岡山県農林水産総合センター森林研究所 西山嘉寛）

◎（一社）日本森林技術協会理事長賞

・森林管理に向けた３次元レーザスキャナシステムの検証について（森林技術・支援センター 屋森修一、坪倉真）

◎（一財）日本森林林業振興会会長賞

・緑をとりもどせ！～生態系の多様性保全と土砂崩壊防止を目指して　その２～

（鳥取県立智頭農林高等学校　木下茉己斗、廣岩正路、鎌田伊織）

◎森林・林業交流研究発表会 審査委員長賞

・人工林皆伐地における天然更新を活用した針広混交林化の可能性

～生物多様性保全と造林費の低コスト化～

（京都大阪森林管理事務所 江間薫）

・現地発生土を利用した新たな復旧治山事業の取り組み
　～ＲＥＧ工法の有効性について～
（島根森林管理署 井上正人 坂田隆治）

・浄水発生土とバーク堆肥の園芸用土としての利用に関する研究
（大阪府立園芸高等学校　塩田誠仁、林朋輝、阪上太洋、服部真也）

令和元年度国有林モニター会議（山口）

【総務企画部 企画調整課】

近畿中国森林管理局では、国有林野事業の活動全般について一般の方々のご意見を伺い、情報・意見の交換を図ることで、皆さまからの要請を的確に把握し、これを反映した管理経営を行っていくことを目的に「国有林モニター事業」を実施しています。

本年度は63名の方に国有林モニターになっていただいています。

錦帯橋近くから視察

9月7日（土）に開催した「国有林モニター会議（大阪）」に続き、本年度2回目の「国有林モニター会議（山口）」を9月28日（土）に山口県岩国市の城山国有林で開催し、13名のモニターの方に国有林を視察していただきました。

まず、景観に配慮して等高線に沿った間伐を実施している複層林施業指標林と、錦帯橋の借景となっている森林空間利用モデル林を視察していただきました。その後、ロープウェイで城山国有林の山頂に移動し、

説明を聞きながら徒歩で移動

社寺仏閣の屋根材料となる檜皮（ひわだ）を採取する試験地及び治山ダムを視察していただきました。モニターの方々からは、景観を維持していくための施業の工夫についてや、檜皮を採取する原皮師（もとかわし）の人材育成などについてご意見をいただきました。

午後からは、意見交換会を行い、シカによる樹木被害対策、木育による子どもの教育など、日頃から感じていらっしゃる林業に対する様々な提案や意見をいただきました。

今後も、国有林モニターの方々からの声を国有林野事業に反映していけるよう、様々な企画に取り組んでいくこととしています。

トピックス

安寿の森にて第30回森林ふれあい教室を開催しました

【島根森林管理署】

10月29日（火）に地元の吉田寿会と「多様な活動の森」の協定を結んでいる安寿の森（吉田国有林）で森林教室を行いました。

安寿の森での森林教室は、平成2年から毎年開催されており、今回で30回目となりました。今年は安来市立南小学校の5年生16名を迎え、吉田寿会に加え、島根県、安来市、吉田交流センターの皆さんに参加していただき、総勢52名で森林教室を行いました。

森林教室の内容
・ヤマザクラの記念植樹
・林野庁長官から贈られた吉田寿会への感謝状を島根森林管理署長が披露
・体験林業として、スギのコンテナ苗の植栽
・全国植樹祭の啓発活動として絵馬、幟への寄せ書き
・コナラ原木に椎茸の菌を植菌
・木工教室

最後に撮った記念撮影

大山森林生態系保護地域自然観察会を開催しました

【鳥取森林管理署】

11月2日（土）、秋の青空の中、大山国有林において、大山森林生態系保護地域自然観察会を開催しました。一般公募による8名が参加し、大山ナショナルパークセンターを出発し、夏山登山道、中国自然遊歩道を通り大山寺、大神山神社を経て寂静山に向かい、同センターへ戻るルートで行いました。大山森林生態系保全管理協力員から、森林生態系保護地域に生育する希少な植物や樹木の種類、木々を飛び渡る野鳥の名前や生態について説明があり、手に触れたり、望遠鏡で観察するなど、熱心に学習していました。寂静山では、大山北壁を眺めることができ、雄大な景色を背景に全員で記念撮影を行い、その後大山寺参道を経て、全員元気に帰着しました。

草類の観察

樹木の観察

参加者からは、「貴重な植物が育ち、野鳥が生息する生態系保護地域の大切さがわかった」、「普段見ることのできない樹木や植物を見ることができた、楽しい一日となった。」、「森林生態系の大切さがわかった。大山の雄大な景色が素晴らしかった。」、との感想があり、森林生態系保護地域に親しみを感じてもらえた観察会となりました。

観察会を終えての記念撮影

秋の里山実りのフェスティバル2019

【岡山森林管理署】

11月3日（日）、岡山市中区の「操山公園里山センター」において、「秋の里山実りのフェスティバル2019」が開催され岡山森林管理署も参加しました。

国有林内にある「操山ふれあいの森」近くに位置する操山公園里山センターは、市民の方々から自然や里山文化を楽しめるフィールドとして常日頃から親しまれており、例年、多くの方々が来場しています。

つるかご（作成中）

当日、会場内には毎年恒例の名物「さと山汁」の出店のほか、多種多様な食べ物や無農薬野菜、木工ハンドメイド作品の販売ブースなどが並びました。

つるかご（完成品）

つるかご（持ち帰り）

また、ステージでは音楽隊のラッパの音が鳴り響き、食や音楽、芸術など、多様な“秋”の楽しみ方を体験できる賑やかなお祭りとなりました。

森林ボランティア（山口県OF会）による森林整備活動 in 大葉山

【山口森林管理事務所】

11月15日（金）、山口県阿武郡阿武町に所在する大葉山（おおばやま）国有林において、山口県オールドフォレスター会（※OF会）による森林ボランティア活動を実施しました。

作業の様子

当日は、朝から霜が白く光る快晴の中、OF会から10名、山口森林管理事務所から職員8名が参加し、雨で傷んだ大葉山林道の補修をメインに実施しました。

このところの天候不順により、雨等で流された土石が林道の横断溝に詰まり、あふれた水が路面を洗い流して所々荒れた状態となってい

たため、横断溝の土砂や石を撤去し、土嚢袋に詰めて路面に平坦に敷き均していきました。

作業は想像していたよりも重労働で、横断溝に詰まった大石や堆積した土砂の撤去には悪戦苦闘し、汗や泥にまみれながらも、無事完了することができました。

近年、林業就労者の高齢化や減少が叫ばれて久しくなりますが、OF 会の熟練された技術に感心するとともに、森林の整備や林業施設維持・整備は、国土保全のための重要な役割であることを再認識した 1 日となりました。

※ OF（オールドフォレスター）会とは、国有林野の退職者で組織され、国有林での森林ボランティア活動を通じて国民参加の森づくりに貢献している団体です。

気比の松原（松原国有林）で松葉かきを 2 回実施しました！

【福井森林管理署】

《敦賀市民による松葉かき》

11 月 9 日（土）に、一般参加の松葉かきイベント「第 6 回　気比の松原　松葉をかいて松林を元気に！」（主催：気比の松原 100 年構想推進連絡協議会　共催：福井森林管理署）を実施しました。イベント開始に当たり気比の松原百年構想推進連絡協議会の白木会長と福井森林管理署の竹井署長が挨拶を行いました。当日は 45 人の参加があり、参加者からは「これからも参加して、気比の松原を未来につなぎたい。」などの声がありました。

敦賀市民による松葉かき作業の様子

【福井森林管理署】

《中学生による松葉かき》

11 月 12 日（火）に、敦賀市立松陵中学校生徒による松葉かきを実施しました。松陵中学校と気比の松原 100 年構想推進連絡協議会及び福井森林管理署は、平成 27 年から共同して気比の松原の保全活動を実施しており、今年は 2 年生 166 名が松葉かきを実施しました。当日は、協議会の白木会長、福井森林管理署の竹井署長の挨拶や松原を愛する会の藤本会長による松葉かきの必要性の説明等の後、生徒たちは 45 分間松葉かきを実施し、ごみ袋 500 袋分の松葉を集めました。「観光名所である気比の松原の美化に協力出来てよかった。」との声も聞こえ、子供たちの中にも着実に松原は郷土の宝という認識が広がっている様で嬉しく思いました。

松陵中学校による松葉かき作業の様子

兵庫県立山崎高等学校の国有林見学実習

【兵庫森林管理署】

11 月 5 日（火）・13 日（水）に、兵庫県立山崎高等学校森林環境科学科の 1 年生 37 名・2 年生 28 名が地元宍粟市内の国有林で現地見学・実習を行いました。

保護林の見学

5 日は 1 年生を対象に、音水（おんずい）国有林の音水スギ・ヒノキ・トチノキ遺伝資源希少個体群保護林を見学しました。樹齢 250 年生の※倒木更新したヒノキの巨木の前では、貴重な天然林資源を見上げ、その大きさに歓声が上がっていました。午後からは、素材生産事業箇所に移動し、森林官の説明のあと、チェーンソーとグラップルによって実際にスギを伐倒・集材する現場を間近に見ることができました。生徒たちはその迫力に興奮した面持ちで作業を見守っていました。

13 日は 2 年生を対象に、本谷国有林の素材生産事業箇所で森林官と職員の説明のあと、高性能林業機械による車両系作業システムの作業を見学しました。事業体の

プロの技に生徒たちは魅せられながら、生産された木材の流通についても学習しました。

搬出作業の見学

※倒木更新とは寿命や天災、伐採などによって倒れた木（倒木）が腐りその上に新たな世代の木が育つこと。

京西ウォーキングサロンに講師を派遣しました

【奈良森林管理事務所】

説明の様子

地域住民の健康増進と地域活性化のため、毎月地域にある様々なスポットを巡る、（公財）奈良市生涯学習財団 京西公民館が主催する「京西（けいせい）ウォーキングサロン」が 11 月 22 日（金）に開催され、奈良森林管理事務所から講師の派遣を行いました。

今回の講座は、奈良森林管理事務所に近接する大亀谷国有林内を散策することから、講師依頼されたもので、当日は 27 名の参加がありました。

出発地の五条西集会所で職員から、国有林のことや奈良森林管理事務所の取組等の説明を行った後、大亀谷国有林内の散策に出発しました。林内には、ナラ枯れの伐倒処理木が多数あることからナラ枯れの現状や対策の説明、ヒノキ、ソヨゴ、キリ、アオキ、試験植栽しているセンダンなど、様々な樹種の解説を交えて散策を行いました。

ウォーキングの様子

また、歩道沿いには、国有林の境界標が点在していることから、国有林の境界管理など、普段の我々の業務内容についても説明を行い、約 1 時間かけてゴールとなる奈良森林管理事務所に到着し、ウォーキングサロンは無事終了しました。

参加者は、こんな身近に散策できる国有林があることに驚いた様子でしたが、晩秋の森林で心地よいウォーキングを満喫されたようでした。

当所では引き続き、地域に親しまれる森林管理事務所となるよう地域の諸活動に積極的に参加・協力していくこととしています。

お知らせ

森林（もり）のギャラリー（局庁舎１階）

○　展示内容・期間

・農業・農村の多面的機能について

近畿農政局消費・安全部　消費生活課

1．展示内容

農業・農村において行われる農業生産活動がもたらす多面的機能の発揮の紹介

2．展示期間

12 月 9 日（月）～ 12 月 20 日（金）

初日は 13 時～、最終日は正午まで

3. 開館時間

月曜から金曜日まで（土日、休日は除く）

9 時 00 分～ 17 時 00 分

展示風景

●次回展示内容・期間

・箕面森林ふれあい推進センターの取組紹介

1. 展示内容

箕面ふれあい推進センターが実施している森林環境教育などの取組紹介

2. 展示期間

1 月 14 日（月）～ 2 月 21 日（金）

3. 開館時間

月曜から金曜日まで（土日、休日は除く）

9 時 00 分～ 17 時 00 分

我が署のスタッフ　鳥取森林管理署　久保田　晃平（くぼた　こうへい）（平成30年度採用）

【現在取り組んでいる仕事は？】

業務グループで経営担当をしています。管理している国有林が境界侵害されていないかを確認したり、今後の森林計画を作るために、どれだけの木材が作れる山であるかを調査したりします。

国有林の境界も森林計画も一度確定したら変更は難しいものであることから、心配事、疑問に思うことは積極的に確認・相談し、責任感をもって仕事に取り組んでいます。山の中で作業することも多いことから危険なこともありますが、日常の生活環境から離れた開放感を感じることもできます。

【職場の雰囲気は？】

昨年入庁して不慣れな点が多いですが、わからないことを積極的に質問できる環境にあると思います。また、先輩・同僚から機器の操作方法を質問されることもあります。研修機会も多く設けられているので、知識を持ち帰って共有することで職場内のスキル向上に取り組んでいます。

【林野庁の魅力とは？】

普段の生活では味わえない環境に身を置くことができることが魅力です。また、森林は資源や生態系の保護、防災など様々な役割を持っています。適切に管理していくことで人々の生活を守ること、豊かにすることに貢献できます。

森林官等紹介　兵庫森林管理署 神戸治山事業所　治山技術官　山本康二

神戸治山事業所は兵庫県南部の神戸市兵庫区に所在し、主に神戸市・芦屋市・西宮市・宝塚市といった都市部の国有林での治山事業を実施しています。特に神戸市は、瀬戸内海と六甲山に挟まれ東西に細長い市街地にあり、日本で7番目（2019.5.1時点）の人口を有しています。

当治山事業所では、森林がもつ保安林機能の維持・向上を図り、山地災害の発生防止に努めています。都市部の国有林は、住宅地や観光地の裏山が多く、小規模な土砂流出でも人家に流入するなど、いわゆる『都市型の災害』の発生が懸念されることから、適切な治山事業の計画と早期対応により、地域の安全と安心の確保に努めています。

堂徳山国有林全景

六甲山系は大部分が花崗岩質で、風化するともろく崩れやすい性質があり、明治時代にはほとんどがはげ山であったことが分かっています。昭和13年と昭和42年に大きな土砂災害が発生し、市街地まで土石や立木が押し寄せ、甚大な被害をもたらしました。これらの災害を契機に砂防事業・治山事業が本格的に実施され、今日の安全・安心を築くに至っています。また、平成29年には昭和42年の豪雨災害から50年の節目を迎え、山地災害に関する知識や防災意識の向上を目的に「六甲山の災害展2017」が開催され、兵庫森林管理署からもパネルを出展しました。引き続き災害に強い山づくりに取り組んでいきます。

堂徳山国有林治山事業

シリーズ『国有林 最前線！』

～三重森林管理署の紹介～　三重森林管理署

三重森林管理署は、約 21,600ha の国有林と約 1,900ha の官行造林地を管理し、岐阜県・滋賀県・奈良県と接する奥山が多く、三重県の森林（県土の約 65%）の 6%を占めています。

松本峠からの遠景（七里御浜国有林）

国有林は、近畿の屋根と言われ、多くの登山者が訪れる大台ヶ原・大杉谷渓谷や、養老山地・仙ヶ岳・経ヶ峰など地元の市民にハイキングやトレイルコースとして親しまれている山々、防風林として、また世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」である熊野古道（浜街道）のバッファーゾーンとして地元に貢献している七里御浜など、多様な森林を管理しています。

宮川流域の水源でもある大杉谷国有林では、シイ・カシなどの暖帯林からブナ・ミズナラ・モミなどの亜寒帯林まで多様な森林生態系が維持され、大杉谷森林生態系保護地域として約 1,400ha を保護・管理しています。

堂倉滝（大杉谷国有林）

大台ケ原

また、養老山地にある悟入谷国有林では、国有林に隣接する三重県・岐阜県の民有林等所有者と全国的にも珍しい県をまたいだ民国連携協定を結び、木材の協調出荷や林道・中間土場の共同利用などで、民有林の林業経営にも貢献しています。

中間土場利用（悟入谷国有林）